

6歳よりクラシックバレエ、10代半ばからジャズ、モダンダンス、音楽を学ぶ。  
高校卒業後音楽座研究所へ。最終公演まで出演し、同劇団解散後、  
STEPSを経てのちフリーとなる。ダンサー&振付師として香躰鼓琴いるチ  
ームでTV・CM、コンサート等で活動する傍ら、コンテンポラリーダンスのHアールカオスや山崎広太の作品に出演。  
CMやPVのメイン、映画の殺人鬼役等にも起用される。

2001年より3年に渡りMEDIA DRIVE UNIT cell/66bとのコラボレーション作品est-patches  
はデジタルアーティスト、ミュージシャン、デバイス開発者らとともに制作され、アルスエレクトロニカ(リンツ)他ヨーロッパ  
3都市、日本バーチャリアリティ学会、ソウル国際ダンスフェスティバル等で上演。

2005年よりベルリンで活動をスタート。イスマエル・イヴォ、トミー・パーゾネン、ヘレナ・ヴァルトマン、NICO AND  
THE  
NAVIGATORS等、強い個性を持つ演出家の作品に参画する一方で、様々なフェスティバルにて自身の作品を多数発表。"クレ  
イジーで、ストレンジで、素晴らしい"などと高い評価を得る。

主に視覚効果と肉体的表現の関与性を追求して来たこの数年を経て、最近のテーマは音と踊りの再取り組み。淘汰しきれない刹那的  
な感覚に血を送ろうと、音や映像も見境なくいじり、時に途方に暮れながらmacと踊りが手放せない日々を過ごす。

2006年横浜ソロxデュオ<competition+>審査員賞受賞。2008年新国立劇場DANCE EXHIBITIONソロ"REM- the Black  
Cat"再演。現在は世界的ジャズピアニスト高瀬アキとの即興デュオ、子供への作品作りなどにも取り組む。